



Wakate News Letter vol. 01

2008. 8. 7 発行

0. Wakate News Letter 発刊にあたって

文部科学省科学技術振興調整費「若手研究者の自立的な研究環境整備促進」プログラムは、若手研究者が自立して研究できる環境の整備を促進するため、世界的研究拠点を目指す研究機関において、テニユア・トラック制に基づき、若手研究者に競争的環境の中で自立性と活躍の機会を与える仕組みの導入を図ることを目的としています。筑波大学の「次代を担う若手大学人育成イニシアティブ」では15名の若手教員が参加し、研究・教育・マネジメントを中心として活動を進めております。本プログラムの遂行にあたっては、若手教員同士の情報交換と、周囲への情報発信が重要視されています。ホームページ (<http://wakate.biol.tsukuba.ac.jp/>)による活動状況に関する情報発信に加え、より積極的に若手同士、あるいはメンター教員、学外関係者、事務担当者への情報発信を目的として **Wakate News Letter** を発刊することとなりました。関係者の皆様のご意見をもとによりよい情報交換手段となるように勤めてまいりますので、ご協力よろしくお願いいたします。

1. 活動報告

1) セミナー (今年度の軌跡)

当プログラムでは、若手研究者が積極的に・主体的に企画運営するセミナーを開催し、現在13回を数えるまでとなりました。

7月の第10回および第13回は、Hall先生によるワイン&チーズセミナーシリーズとして開催されました。また学内の他の組織とのコラボレートも積極的に行っており、第11回は三浦先生による遺伝子実験センターとの共催、第12回は高崎先生によるTSMI(筑波分子医学協会)との共催企画です。

第1回: 2008年4月9日 16:00 -

演者: 小島 奉子先生 (Dr. Yoshiko Kojima)

(University of Washington, School of Medicine, Physiology and Biophysics)

演題: サッケード適応に関与する神経回路 (Neural circuits involved with saccade adaptation)

場所: 総合研究棟D311室 / 世話人: 西丸広史

第2回: 2008年4月30日 - 5月2日

分子生態学ワーキンググループ準備会

「自然観察から始まる分子生態学」

場所: 菅平高原実験センター / 世話人: 田中健太

第3回: 2008年5月13日 18:10 - 19:00

演者: Dr. Keith Hoek (Department of Dermatology, University Hospital of Zurich, Switzerland)

演題: Switching phenotypes, a new model for cancer progression

世話人: Damien Hall

第4回: 2008年5月22日 19:00 - : ワイン&チーズセミナー1

演者: Prof. Eric deSchutter (Okinawa Institute of Science and Technology)

演題: Modeling Neurons: Building Connections Between Europe and Japan

「ニューロンのモデル化: アントワープからカリフォルニアを経て沖縄への25年間の旅」

場所: 総合研究棟D116室 / 世話人: Damien Hall, 永宗喜三郎, 奥脇暢

第5回: 2008年5月23日 14:00 - 15:00

演者: 植田美那子博士 (Dr. Minako Ueda)

(名古屋大学 大学院理学研究科 / ドイツ・フライブルグ大学出向中)

演題: 高等植物の初期胚における体軸形成の分子機構 - シロイヌナズナ胚で非対称に発現するWOX8遺伝子の発現制御機構の解析を通じて -

場所: 遺伝子実験センター2階セミナー室 / 世話人: 三浦謙治、丹羽隆介

第6回: 2008年6月3日 19:00 - : ワイン&チーズセミナー2

演者: 中村春木教授 (大阪大学・日本蛋白質構造データバンク / Head of the Protein Data Bank of Japan)

演題: Successful Interfacing with the World Scientific Community

「国際社会とのインターフェース」

場所: 総合研究棟D116室 / 世話人: Damien Hall, 永宗喜三郎, 奥脇暢

第7回: 2008年6月9日 12:00 - 13:00

演者: Dr. Trent Munro (Australian Institute for Bioengineering and Nanotechnology, University of Queensland, Brisbane, Australia)

演題: Intra-clonal variation in CHO cells producing a recombinant therapeutic monoclonal antibody: Implications for the Biopharmaceutical Industry

場所: 総合研究棟D311室 / 世話人: Damien Hall

第8回: 2008年6月13日(金) 17:00 -

演者: 岩里琢治博士 (理化学研究所脳科学総合研究センター・行動遺伝学技術開発チーム)

演題: 「哺乳類中枢神経回路発達の遺伝学」

場所: 総合研究棟D311室 / 世話人: 西丸広史

第9回: 2008年6月19日 19:00 - : ワイン&チーズセミナー3

演者: 中村康一氏 (Nature ジャパン, エグゼクティブディレクター)

演題: The Special Nature of Nature in Japan

「日本において特別な『ネイチャー』」

場所: 総合研究棟D116室 / 世話人: Damien Hall, 永宗喜三郎, 奥脇暢

第10回: 2008年7月1日 19:00 - : ワイン&チーズセミナー4

演者: 有坂文雄教授 (東京工業大学/Tokyo Institute of Technology)

演題: Building and Maintaining Successful Overseas Collaborations

「私の海外共同研究 - 得たこと・学んだこと」

場所: 総合研究棟D116室 / 世話人: Damien Hall, 永宗喜三郎, 奥脇暢

第11回: 2008年7月4日 17:15 -

演者: 河内孝之教授 (京都大学大学院 生命科学研究所)

演題: 緑色植物比較分子遺伝学の新興モデル植物ゼニゴケ

会場: 総合研究棟A棟110 公開講義室 / 世話人: 三浦謙治

第12回: 2008年7月15日 (火) 13:35 - 14:45

講演者: 笹井紀明博士 (理化学研究所、発生・再生科学総合研究センター)

演題: アフリカツメガエル初期胚における外胚葉決定の分子機構

場所: 医学学系棟4B482 / 世話人: 高崎真美

第13回: 2008年7月17日 19:00 - : ワイン&チーズセミナー5

演者: 伊藤正男教授 (理化学研究所 / RIKEN Brain Science Institute)

演題: Navigating One's Way Through Science - A Personal Odyssey

「科学の世界での道探し - 私の冒険物語」

場所: 総合研究棟D116室 / 世話人: Damien Hall, 永宗喜三郎, 奥脇暢

2) 業績 (08年7月)

<原著論文>

Kanako Komaki-Yasuda, Mitsuru Okuwaki, Shigeyuki Kano, Kyosuke Nagata, Shin-ichiro Kawazu, Mol Biochem Parasitol. In press (2008)

<学会発表・招待講演>

西丸広史

「遺伝子改変マウスを用いた歩行CPGの研究」
第2回 Motor control 研究会、岡崎、2008年5月30日

西丸広史、斉藤憲史、柳川右千夫

「VGAT ノックアウトマウスにおける脊髄運動神経回路の発達」
第31回日本神経科学大会 / Neuroscience2008、東京、
2008年7月9日（ポスター発表）

杉山智康、杉岡梨恵

RNAi を介したヘテロクロマチン形成機構の解析
第10回 日本RNA学会年会 平成20年7月
25日 札幌（口頭発表）

Tomovasu Sugivama

Kbp1: a kinetochore binding protein essential for CENP-A loading and
DNA damage response in *S. pombe*
The 21st Naito Conference, Nuclear Dynamics and RNA [I] 平成20年6月26日 山梨
(ポスター発表)

Mitsuru Okuwaki, Shuhei Ueshima, Kyosuke Nagata

Biochemical characterization of nucleolar structure.
EMBO Workshop: The Nucleolus and Disease 2008. 6.23-25, United Kingdom

Damien Hall

A toy model of amyloid formation
'The Pacific Rim International Conference on Protein Structure.'
Cairns from June 22-26

Damien Hall

The effect of surface roughness on the measurement of surface diffusion coefficients in the
cell by light microscopy methods
The weekly seminar event at the Australian Institute of Nanotechnology and Biotechnology
(AIBN) June 27, 2008

< 著書・総説 >

Damien Hall

'Kinetic Models of Describing Biomolecular Interactions at Surfaces'. Chapter 4 of
'Handbook of Surface Plasmon Resonance'
Ed. Schasfoort and Tudos, 2008. Royal Society of Chemistry (UK)

< 各賞受賞 >

西丸広史

「遺伝子改変マウスを用いた歩行CPGの研究」
優秀発表賞 第2回 Motor control 研究会、岡崎、2008年

3) 若手運営調整委員会よりお知らせ

- 説明会開催について
エフォート管理、補助者の外部資金応募・学会参加に関するルールについての説明会を開催予定（8月末から9月の間）
- 国際シンポジウム
以前お知らせしたとおり、11月8、9日に総合研究D棟において、国際シンポジウム "International Symposium on Protistology, Evolution and diversity" を開催します。詳細は来月号でお知らせできると思いますが、若手研究者の方はシンポジウムに先立って11月6、7日に平成20年度研究報告会が行われること、補助者の方はシンポジウム前日及び当日はお手伝いをお願いすることになりますことにご留意下さい。

2. スケジュール

< 08年8月 >

5日(Tue) 13:30-14:30 公募スペース現地点検・評価

対象建物：総合研究棟D 若手関連スペース

(204,205,223,224,225,226,311,327)

*若手研究者が使用する独立型の研究スペースのうち、コアとなる総合研究棟D専用ファシリティの利用状況チェックです。学内施設利用専門委員会による点検と評価が行われます。ご協力をお願いいたします。

7日(Thu) 11:00-12:00 振興調整費合同会議@総合研究棟D-115

*当プログラム定例会は、毎週第1木曜開催です。

14日(Thu) - 15(Fri) 筑波大学一斉休業

*夏季における心身のリフレッシュ及び省エネルギーに資するために、附属病院を除く全組織で実施される一斉休業です。両日とも休暇取得にあたっての申請は不要です。

3. 事務連絡

- 委託業務成果報告書（冊子体）配布
平成19年度の報告が完了し、冊子体として若手研究室をはじめ、大学本部、メンター等関係各所に配布されました。
- ワイン&チーズセミナーシリーズ終了
Damien Hall 先生が中心となり企画された、5-7月期間5回のシリーズが終わりました。幅広い分野から著名な先生を講師にお招きしたいへん魅力ある演題で、毎回多くの方がご来場くださいました。
- 夏季休暇取得について
9月まで取得出来る3日間の夏季休暇は特別休暇となりますので、休暇簿の記入・提出が必要となります。不明な点は、早めに担当事務へご連絡ください。

4. Clues!

- ペDESTリアンデッキ/ペDESTリアンウェイ
学外から続きますが、学内では一の矢あたりから第三・第二の間を抜けて第一学群、体芸、医学へと南北に走る遊歩道です。学内移動にもとても便利なルートですが、車道と交差する地点もありますので横断時にはご注意ください。
- 筑波大学研究基盤総合センター 低温部門
学内で低温寒剤を供給しているセンターです。利用についての詳細は同センターHPをご確認ください。「必要なとき、必要な量を、より安い料金で、安全に利用していただく」のモットーが掲げられています。

Wakate News Letter vol.01 [平成20年8月号]
編集発行：若手研究者運営調整委員会

*当ニューズ・レターは、毎月1回定例会後に配信いたします。
連絡先：若手支援室 担当 佐久間 vivien@sec.tsukuba.ac.jp